

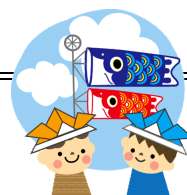
学校だより 5月号

令和3年5月6日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e-konosu.edumap.jp/>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp
毎月19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



学力向上は一日にしてならず ～学習意欲を高める「スモールステップ」～

校長 池澤 道弘

「春に三日の晴れ間なし」ということわざがある通り、季節の変わり目で雨が降ったり、強風が吹いたり、夏日のような気温が続いたかと思うと突然寒くなったりと、天気の変化が激しかった4月が終わり、青空に新緑が映える5月になりました。子どもたちは新しい学年、新しい先生にもすっかり慣れ、元気に学校生活を送っています。1年生も入学後、しばらくは緊張している様子も見られましたが、小学校の生活に馴染んでくるに従い、少しずつ自分らしさを表現することができるようになってきました。今月は家庭訪問も予定されています。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご家庭と協働・共育で子どもたちを育てていくために、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校では学力向上の一環として平成28年度より百人一首等の暗唱に取り組んでおり、これまで百人一首の暗唱を百首全て合格した暗唱名人が25人誕生しています。3時間目休みと昼休みは暗唱の検定の時間に設定しているため、その時間は多くの児童が職員室に検定を受けにやってきます。特に金曜日は、いきいきタイムが暗唱の時間になっている関係で、大盛況になることも少なくありません。

もちろん学年によって意欲の差があったり、同じ学年でも個人差があったりしますが、子どもたちはみんな、とてもよく頑張っていると思います。手前味噌で恐縮ですが、これは「学年ごとに題材を分けて取り組む」という、本校のシステムが大きく影響しているのではないかと思います。40年も前の話になりますが、私が高校生の頃、冬休みに「百人一首の暗唱」という宿題が出ました。恐らく、高校生としての主体性を求めたのだと思いますが、段階的ではなく「自分で工夫して冬休みが終わるまでに百首覚える」という課題でした。ところが、人間とは弱いもので「百首」というゴールがあまりにも遠すぎて、私のような自分を律する強い精神がない者は、一向に頑張る意欲が湧きません。流石に最初の「秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ」（天智天皇）はすぐに覚えましたが、工夫する知恵がなかった私は二十首くらいが限界で、その先はちっとも進まず挫折したという苦い経験があります。

様々な取組を行う際、よく「目標」を設定しますが、その匙加減はなかなか難しいものです。難易度が高ければ挫けて意欲がなくなってしまうし、反対に簡単すぎればつまらなくなって、やはり意欲が薄れてしまいます。大切なのは「少し頑張れば達成できそうだ」という「目標」を設定してあげることです。もちろん、達成できた事実だけでなく、そこに至るまでの頑張りが称賛してあげれば効果は倍増します。

ウォーキングやマラソン、ダイエットなどもそうですが、はじめから高い目標にチャレンジしても、長続きはしないものです。子どもたちの学習も同じです。「学力向上は一日にしてならず」百人一首に限らず、難易度が高い目標であったとしても、長い期間を見据えて、スモールステップで取り組んでいけば、達成できる可能性は高くなります。遠回りのように見えても、少しずつ継続的に取り組むことが学力を定着させる一番の方法なのではないかと思います。

学校の教育活動の中には、この暗唱以外にも「音読」「リコーダー」「かけ算九九」「なわとび」など、ご家庭にご協力いただいているものが多々あります。最初は上手にできなくても、適切な目標を設定し、小さな成長を認めてあげることによって、子どもたちは意欲をもって取り組んでいきます。保護者の皆様におかれましては、今後とも子どもたちの頑張る姿を応援していただければ幸いです。

